

1. 概要

政策	V	市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営	担当課室		
施策分野	27	行政運営	企画政策課 外20課室		
目指す姿	持続可能な行政マネジメント方針 市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営				

2. 成果と課題

指標名	市民目線でしっかりした行政運営がなされていると感じる市民の割合						施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
実績値	令和2年度	20.4 %	令和5年度	14.4 %	令和7年度			進捗度の 根拠や成果	デジタル技術の活用により庁内業務の効率化や行政手続きのオンライン化が大きく前進しました。保育所入所手続きや窓口などで、市民がオンラインツールを利用して便利に手続きができ、職員側ではデータのまま効率的な処理ができる事務フローとすることで、市民の利便性の向上と事務の効率化を両立することができました。財政の健全化に努めた結果、令和5年度末市債残高は平成30年度末に比べ、約70億円減少する見込みとなりました。	
目指す姿に向けた課題	迅速な社会変化に対応するために、行政サービスのデジタル化を推進します。しかし、本人認証や決済などはセキュリティへの配慮が必要となります。健全な財政運営を行うためには、国や県の補助金等を最大限活用し、事業の的確な取捨選択を行い、事務事業の見直しを継続する必要があります。持続可能な行政運営へと前進したと考えますが、市民目線での行政運営が今後の課題となります。							今後の 方針	デジタルを活用した市民サービスのオンライン化を推進し、セキュリティにも配慮しながら市民の利便性の向上を図ります。有限な予算と資源を効果的・効率的に管理するとともに、国や県の補助金等を最大限活用し、事業の的確な取捨選択を行い、事務事業の見直しを継続します。	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業		担当課室	事務事業による目指す姿への効果の内容とその理由
①	I C T推進事業	デジタル戦略課	導入した各デジタルツールが庁内に浸透しつつあり、デジタル技術の活用により削減した職員の業務時間（推計時間／対前年）は29,089時間と目標の25,000時間を超える結果となりました。また昨年度から手続きオンライン化に取り組んでおり、保育園入所手続きのトライアルでは、概ね市民からも好評を得られました。
②	市民窓口事務	市民窓口課	マイナンバーカードを介したデジタル手続きの利用を促すため、9月末まで特設会場を設けてマイナポイント申請支援事業を実施し、通常より休日開庁を多くするなど、マイナンバーカードの普及に努めた結果、令和5年度末時点の交付率が全国平均78.7%に対し、橿原市は83.5%と全国平均を上回ることができました。住民票等のコンビニ交付件数も前年度比1.3倍に増え、市民の利便性が向上しました。
③	財政管理事務	財政課	予算編成方法として「一般財源枠配分方式」を継続し、各部局長のマネジメント力を発揮できるようにするとともに、サマーレビューを行い、各部局と市長との連携を深め、政策を反映した予算編成を行いました。将来的に持続可能な市政運営ができるよう、財政の健全化に努めた結果、令和5年度末市債残高は5年前の平成30年度末に比べ、約70億円減少する見込みとなりました。
④	分庁舎等管理事務	資産経営課	屋内交流スペースを含めた分庁舎の活用については、モニタリングによる確認を柱に随時適切な協議や指導を実施し、安定的な分庁舎の運用を継続するとともに、P F I事業者や関係機関と協働してイベント等の開催や地域活性化に取り組んだ結果、屋内交流スペース利用日数が212日と昨年度比18%増加となり、快適で利便性の高い分庁舎の提供に寄与しました。
⑤	企画調整事務	企画政策課	審議会の審議を得ながら、本市の指針となる総合計画及び総合戦略の進行管理を行い、計画的かつ着実な業務の遂行を行うための体制を構築しました。また、交付金や寄附の獲得に向けた調整により財源確保に寄与しました。企業版ふるさと納税の庁内推進の結果、金額が前年度約30%増の寄付金の受け入れとなりました。

総合政策審議会からの提言等	